

外国語を滑らかに話すために

学習過程を楽しんで

酒井教授お薦めの海外ドラマ・洋画

	『シャーロック』シリーズ	『空飛ぶモンティ・パイソン』シリーズ	『名探偵ポワロ』シリーズ
概要	現代のシャーロック・ホームズを描いたドラマ。ミステリー好きにお薦め。劇場版に『忌まわしき花嫁』	コメディグループ「モンティ・パイソン」によるコメディドラマ。劇場版に『モンティ・パイソン・アンド・ホーリー・グレイル』など	『オリエンタル急行殺人事件』などで知られるアガサ・クリステイの小説をドラマ化。「はまり役」といわれる主演デビッド・スーシェの演技に注目
主演	ベネディクト・カンバーバッチ	「モンティ・パイソン」	デビッド・スーシェ
制作国	英国	英国	英国
放送年	2010年～現在	1969～74年	1989～2013年

洋画から表現を習得

留学するに当たっては日常会話をこなせるだけの語学力は身に付けたという。しかし、片や外国語をすら話せる日本人がいる一方、外国語を話すとしどろもどろになってしまう人もいる。外国語を滑らかに操るにはどうすれば良いのか。脳科学の観点から言語の習得過程などを研究している酒井邦嘉教授（総合文化研究科）に、外国語習得のこつや自身の海外での研究生活の体験を聞いた。

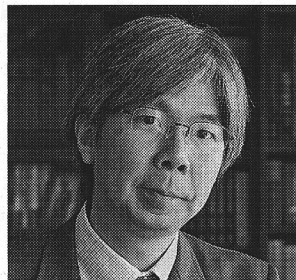
（取材・児玉祐基）

私たちの脳はどのように母語を習得するのだろうか。『記憶』や『理論的な能力が働いています』と酒井教授。教える人がいなくても、乳児は周囲に母語の環境があれば自動的に言語を身に付ける。

自動的に習得できるのは言語だけではない。最近、14歳という史上最年少のプロ棋士が誕生して話題を集めた。「若くしてプロになる棋士は、幼い頃から将棋に親しんだことでしばしば直感的に妙手を打てます」。自動的に習得した結果、駒を母語のように理屈抜きで扱えるのだ。しかし「自動的な習得」の能力は徐々に失われ、思春期頃にはなくなってしまうという。

そのため思春期以降の言語学習は自動とはいかず、苦勞を伴う。仮に単語を覚

えても、実際の会話で使えるとは限らない。将棋の駒の動かし方を覚えたただけでは実戦で役立つたのと同じだ。実際に使えるようになるには「習うより慣れる」



酒井邦嘉教授
（総合文化研究科）

92年理学系研究科博
士課程修了。理学博
士。ハーバード大学マ
サチューセッツ工科大
客員研究員などを
経て、12年より現職。

キャラを変えて話す

ハーバード大学などの研究員として米国で過ごした経験を持つ酒井教授。英語の環境に適応するに当たって研究に関する会話は苦にならなかつたが、集団での談話が難しいと感じたという。「いったん聞き役になってしまつと、なかなか輪

に入れませんからね」このような場面に対応するためにも、外国語を話す際は「自分のキャラを変える」ことが大事だと指摘する。「日本語なまりの変な英語でごめんなさい」という態度ではなく、少々英語に自信がなくても「グイグイ前に出るキャラ」に自分を変える。「Hi! What's up?」でいいのです（笑）。

役者のように話すことで会話に参加できるだけでなく、英語を話すことへの抵抗感が薄まり、よりすらすら話すことができるのだ。日常で遭遇するトラブルも酒井教授が米国で経験したことの一つ。米国の運転免許証を取るのに社会保障

だと酒井教授は指摘する。「大人の脳でも潜在的に複数の言語を扱う能力があります」。しかし母語と著しく性質を異にする言語が入ってくるると脳は簡単には対応できない。特に日本語と英語は語順や発音の面で大きく違うので日本人は日本語のパターンにどうしても引張られてしまう。

その「引張られ方」には個人差があるため「自分に合わない練習をすれば間違って、酒井教授は洋画や外国語の小説を薦めてくれた。だが一人で見たら読んだりする映画や小説は実際の会話で役立つのか。「実際の会話でも、せりふを少し変えれば状況に合った表現になるものです」。洋画なら吹き替えや字幕の設定をさまざまに変えることで、自分のレベルに合った教材となる。そして何度も鑑賞することで、自然に会話表現が身に付いていく。

方法は何であれ、外国語を学ぶ際に最も重要なのは「訓練としてではなく、習得の過程を楽しむこと」と酒井教授は強調する。その上で効率が学ぶ期間ではなく、学びの深さを重視すべきだと話す。学びの質を上げようと準備すると、脳が「頑張らなければいけない」と本気を出すためだ。「もし方法に迷ったら、単語帳で覚えるといった人工的な方法ではなく、会話や映画鑑賞など脳にとって自然な方法を選びましょう」

番号が必要だと言われ、役所で社会保障番号を申請したら、運転免許証などの米国の身分証が必要と言われたという。「トラブルへの対処法は海外に行かないとなかなか分かりません」

日常のハプニングも留学の楽しみの一つかもしれない。楽しみながら外国語をマスターし、留学を目指してみてはどうだろうか。